

東映衛星放送株式会社

第8回番組審議委員会議事録

開催日時： 平成24年8月27日（月） 11時30分～13時

開催場所： コートヤード・マリオット 銀座東武ホテル

委員の出席： 委員の総数 7名 出席委員数 5名

出席者：

（番組審議委員）

星野岳志（委員長）、有山弘道、秋本鉄次、杉恭介、小川善美

（放送事業者側出席者）

代表取締役社長	香月純一
取締役相談役	福原英行
取締役相談役	古玉國彦
編成営業部 部長	金子建
編成営業部 部長代理	山本健太郎
業務部 次長	辺見孝

欠席者：

（番組審議委員）

加地隆雄、脇田巧彦

議題： （1）報告事項
（2）「東映チャンネル」の編成内容に関する審議

（1）報告事項

1. SD 高画質放送について

2月23日に総務省より、スカパー！e2における東映チャンネルの6スロット化認定書が交付された（現行は4.8スロット）。これにより、今までは周囲に黒味がついた形で放送されていたものが、HD放送と同様画面全体を有効に使える形での放送（SD高

画質放送)が可能になり、8月1日より、スカパー! e2上で東映チャンネルのSD高画質放送を開始した。

2. 聴覚障がい者字幕対応作品の放送について

同時に、8月1日よりスカパー! e2上で聴覚障害者用字幕(クローズドキャプション)対応作品の放送を開始した。これにより、聴覚障がいや耳の遠くなった視聴者の方にも放送を楽しんでいただけることができる。スカパー! HDでも11月から対応予定。

(2)「東映チャンネル」の編成内容に関する審議

放送事業者側出席者より、東映衛星放送(株)の現況、最近の市場環境、「東映チャンネル」の編成内容に関する説明ののち審議に入った。

<番組審議委員の発言>

1. (番組に関する情報に関して) プログラムガイドやガイド雑誌だけでなく東映チャンネルの放送上でも「こういうことがあるんだよ」という情報が事前にほしい。今月や来月の情報が簡単にわかればよい。放送上で番組告知、番組宣伝をたくさん流してほしい。いまも放送で流れているが、それで知ることのほうが多い。
2. 他社では、既存テレビシリーズを衛星放送向けにリメイクする動きがある。二つの撮影所を擁する東映グループは強い立場にある。特に、時代劇について再評価をしてほしい。
3. 『特捜最前線×プレイガール2012』に関する取材をしたが、スタッフの方のお話はとても面白い。また、後々その当時を知るための証言としても意義がある。深夜の放送でも構わないので、なるべくカットせずに放送してほしい。
4. 異色作品の特集を検討できないだろうか。不良性感度や刺激度の高い作品を製作してきた東映ならではの企画ではないだろうか。
5. 団塊世代の余暇に向けた番組編成を強化すべきではないか。
6. 『特捜最前線×プレイガール2012』に関しては、視聴者にアピールするだろう。諸手を挙げて賛成する。
7. 他業界でも、常に支持してくれるファンがいるところは強い。特撮作品や時代劇など

各ジャンルの視聴者を大事にしていきたい。ソフトを多数保有している強みを生かした番組編成をしてはいかがだろうか。

<事業者側の回答>

- ・（1. の放送上で番組告知、番組宣伝をたくさん流してほしい、という意見について）現在、前月から当月までの間に、「カミングスーン」と番組宣伝の2種類の告知番組を放送している。また、メールマガジンでも放送予定を告知している。
- ・（6. の『特捜最前線×プレイガール 2012』に関して）この作品は数年前からファミリー劇場、東映ビデオと弊社の三者で企画してきた。

以上